

2023年6月20日

ウェザーニューズ、「猛暑見解 2023」を発表
西日本や沖縄を中心に猛暑、全国的に平年より暑い夏
～暑さのピークは7月下旬から8月上旬、残暑も厳しく熱中症に注意～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開 千仁)は、「猛暑見解 2023」を本日発表しました。今年の夏(7~9月)の気温は全国的に平年より高く、平年より暑い夏になりそうです。また、7月下旬から8月上旬にかけて暑さのピークを迎え、太平洋高気圧とチベット高気圧の張り出しが重なるタイミングで西日本や沖縄を中心に猛暑となりそうです。今年は7月中旬までに西日本から東海地方や関東甲信地方で梅雨明けするところが多く、平年と同様に暑い時期が始まりそうです。運動をする場合などは水分補給などの暑さ対策をしっかりと行い、熱中症には十分ご注意ください。最新見解は、「ウェザーニューズ」アプリやウェブサイトからご確認いただけます。

最新見解はこちら「ウェザーニューズ」ウェブサイト

<https://weathernews.jp/s/>

「ウェザーニューズ」ウェブサイト「熱中症情報」

<https://weathernews.jp/s/heatstroke/>

◆ 7~9月の平均気温は全国的に平年より高い

7月になると、太平洋高気圧が本州付近への張り出しを次第に強め、7月中旬には、本州付近に停滞している梅雨前線が日本海から東北付近まで北上する見込みです。このため、今年は7月中旬までに西日本から東海地方や関東甲信地方で梅雨明けするところが多く、平年と同様に暑い時期が始まりそうです。7月下旬には、東北地方でも梅雨明けとなり、夏空が広がり暑くなる見込みです。

7~9月の平均気温は、全国的に平年より高く、全国的に暑い夏になりそうです。

7月は西日本や沖縄を中心に平年より高く、暑さの厳しい日もあるでしょう。8月は中旬以降で暑さの和らぐ時期がありそうですが、西日本や沖縄を中心に平年より高く、残暑が厳しくなりそうです。9月は全国的に高温傾向となり、前半を中心に残暑が厳しくなりそうです。

昨年は6月下旬~7月上旬にかけて偏西風が日本付近で北へ蛇行した影響や、フィリピン近海で対流活動が活発になった影響から日本付近で高気圧が強まりました。このため、西日本や東日本を中心に梅雨明けしたかのような晴天と記録的な高温となりました。また、梅雨明け後の7月下旬~8月上旬にかけて西日本を中心に高気圧に覆われて晴れて暑い日が多くなりました。今夏も梅雨明け後は夏空が広がって、厳しい暑さが続く予想しています。



図1: 夏の気温傾向

◆ **暑さのピークは7月下旬～8月上旬、9月も前半を中心に残暑が厳しい**

7月下旬から8月上旬はフィリピン近海の対流活動が活発となり、西日本や沖縄を中心に太平洋高気圧の勢力が強まり、暑さのピークとなる予想です。本格的な暑さに慣れていない時期ですので、熱中症には十分な注意が必要です。この暑さの鍵となるのが、太平洋高気圧とチベット高気圧です。太平洋高気圧とチベット高気圧は広がる高度が違うため、同時期にチベット高気圧が日本付近まで張り出した場合は、太平洋高気圧と上空で重なり合って“ダブル高気圧”となり、二つの高気圧が非常に背の高い一つの高気圧のようになって厳しい暑さをもたらします。35度以上の猛暑日が続いたり、フェーン現象が起こりやすい場所では40度前後の酷暑になることもあります。

また、9月になっても日本付近には南から暖かい空気が流れ込みやすいため、前半を中心に残暑が厳しい見込みです。暑い期間が長くなるため、夏バテにならないよう体調管理が大切です。

(1) **太平洋高気圧：7月以降本州付近への張り出しが強まる**

7月以降、フィリピンの東海上で対流活動が活発になり、太平洋高気圧が西日本や沖縄を中心に日本の南から本州付近への張り出しを強めます。このため、沖縄から西日本を中心に暖かい空気に覆われやすくなり、気温が高くなる見込みです。

ただ、フィリピンの東海上の対流活動と太平洋高気圧の張り出しが弱まって、暑さがやや収まる時期もありそうです。

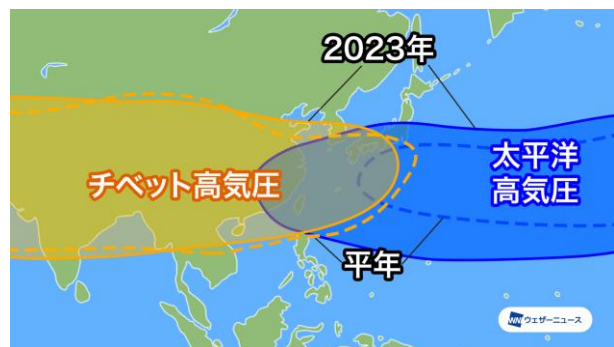


図 2: 今年の猛暑ピーク時の天気図イメージ

(2) **チベット高気圧：7～8月に日本付近への張り出しが強まる時期がある**

チベット高気圧とは、北半球の夏季にチベット付近を中心に広範囲に広がる上空の高気圧です。今夏は、日本付近で太平洋高気圧の勢力が強まる7月から8月に、チベット高気圧も日本付近に張り出しを強める時期がある見込みです。

これらの太平洋高気圧とチベット高気圧の張り出しが重なる時期は、猛暑となりやすい見込みです。その後、9月になっても日本付近には暖かい空気が流れ込みやすく、平年よりも気温の高い日が多くなる見込みです。

※ 本予報は6月18日時点のものです。最新の見解は「ウェザーニュース」アプリまたはウェブサイト (<https://weathernews.jp/s/>) からご確認ください。

◆ エリアごとの見解

エリア	7～9月の平均気温 (平年との比較)	7～9月の暑さ見解
北日本	平年より高い	<p>7月: 気温は平年並みか高い予想です。北海道では月の前半は天気为数日周期で変わり、暑い日もあるでしょう。後半は曇りや雨の日が多くなる見込みです。東北は、下旬には南部から北部へと次第に夏空が広がるようになります。梅雨明け後は安定した晴れの天気と暑さがしばらく続く予想です。</p> <p>8月: 気温は平年並みか高い予想です。北海道では天気为数日周期で変わり、暑い日が多いでしょう。後半はぐずつく時期があり、蒸し暑い日が多い見込みです。東北では前半を中心に高気圧に覆われて晴れて暑い日が多いでしょう。後半はぐずつく時期があり、蒸し暑い日が多い見込みです。</p> <p>9月: 気温は平年より高い予想です。北日本は暖気に覆われやすく、季節の進行が平年より遅れる見込みです。また、台風や前線の影響で蒸し暑くなる日もあるため、体調管理にご注意ください。</p>
東日本	平年より高い	<p>7月: 気温は平年より高い予想です。梅雨期間中は、晴れ間が出て蒸し暑い日もあるでしょう。梅雨明け後は、夏空が広がって暑さの厳しい日が多くなります。まだ身体が暑さに慣れていないため、暑さ対策をしっかりと行ってください。</p> <p>8月: 気温は平年より高い予想です。晴れて暑くなる日が多い中、にわか雨や雷雨の発生で暑さが和らぐ日もあり、熱中症や天気の急変に注意が必要です。</p> <p>9月: 気温は平年より高く、月の前半は晴れ間が出る日が多く、残暑が厳しくなります。後半は曇りや雨の日が多く、蒸し暑くなる日もあるため、体調管理にご注意ください。</p>
西日本	平年より高い	<p>7月: 気温は平年より高い予想です。梅雨期間中は、晴れ間が出て蒸し暑い日もあるでしょう。梅雨明け後は、夏空が広がって暑さの厳しい日が多くなります。まだ身体が暑さに慣れていないため、暑さ対策をしっかりと行ってください。</p> <p>8月: 気温は平年より高い予想です。晴れて暑さの厳しい日が多い中、にわか雨や雷雨の発生で暑さが和らぐ日もあり、熱中症や天気の急変に注意が必要です。</p> <p>9月: 気温は平年より高く、月の前半は晴れ間が出る日が多く、残暑が厳しくなります。後半は曇りや雨の日が多く、蒸し暑くなる日もあるため、体調管理にご注意ください。</p>
沖縄	平年より高い	<p>7月: 気温は平年より高い予想です。高気圧に覆われて晴れて暑い日が多いですが、湿った空気や台風の影響で天気がぐずつき、暑さの和らぐ日もあるでしょう。</p> <p>8月: 気温は平年より高い予想です。強い日差しが照りつけ暑い時期と、湿った空気の影響で、暑さの和らぐ時期がありそうです。夜間も気温が下がりにくく、寝苦しい日も続きます。こまめに水分を補給するなど熱中症対策をしっかりと行ってください。</p> <p>9月: 気温は平年より高い予想です。高気圧に覆われて晴れて暑い日が続く時期と、台風や湿った空気の影響で曇りや雨となり、蒸し暑い時期がありそうです。</p>

※ 本見解の対象期間は7～9月としています。